

C'mon,

来れ、世界を変える

Innovators

若きイノベーター。

Under 35.

「医学／生物学」分野を新設！

世界の重要課題にテクノロジーで挑む
「U35」イノベーターを発掘するグローバル・アワード。

「Innovators Under 35」は、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）のメディア部門「MITテクノロジーレビュー」が主催するグローバル・アワード。テクノロジーの開発や活用によって、世界的な課題の解決に取り組む35歳未満の優れたイノベーターを選出し、広く紹介することを目的としています。

Innovators Under 35 Japanは、過去20年以上にわたって開催されてきたInnovators Under 35の日本版にあたり、受賞者はMITのキャンパスで発表されるグローバル版にもノミネートされ、MITテクノロジーレビューのWebサイトや誌面で継続的に取り上げていきます。

大学、スタートアップ企業、大企業、政府機関、非営利団体などに属する研究者、技術者、起業家、活動家など、世界を変える意欲と才能あふれるイノベーターの応募をお待ちしています。

募集分野

- | | |
|----------------|----------------|
| ● コンピューター／電子機器 | ● AI／ロボット工学 |
| ● ソフトウェア | ● 輸送／宇宙開発 |
| ● インターネット | ● エネルギー／持続可能性 |
| ● 通信 | ● 医学／生物学 [NEW] |

募集期間

2022.6.20 [mon] → 8.15 [mon]

events.technologyreview.jp/IU35/

過去のおもな受賞者

1999年

Helen Greiner
iRobot 共同創業者

2002年

Sergey Brin
Google 共同創業者

2012年

Ken Endo
ソニーコンピュータサイエンス研究所

日本出身

2013年

Feng Zhang
MIT 教授／CRISPR 共同開発者

2015年

Ilya Sutskever
OpenAI 共同創設者

2021年

Nako Nakatsuka
スイス連邦工科大学チューリッヒ校

日本出身



Judges
審査員



森川 博之
東京大学大学院
工学系研究科教授



渡辺 美代子
科学技術振興機構
シニアフェロー



浅川 智恵子
日本科学未来館館長/
IBMフェロー



村井 純
慶應義塾大学教授



中島 秀之
札幌市立大学学長



玉城 絵美
H2L, Inc. CEO /
琉球大学工学部教授



暦本 純一
東京大学大学院教授/
ソニーコンピュータ
サイエンス研究所 副所長



松尾 亜紀子
慶應義塾大学教授



荒井 朋子
千葉工業大学
惑星探査研究センター
主席研究員



所 千晴
早稲田大学
理工学術院教授/
東京大学大学院教授



江守 正多
東京大学教授/
国立環境研究所
上級主席研究員



Takashi Kiyozumi
カリフォルニア大学
サンディエゴ校 JFIT
エグゼクティブ・マネージャー

Requirements
応募要項

応募期間 2022年6月20日(月) ~ 8月15日(月)

- 募集分野**
- ① コンピューター／電子機器：量子コンピューター、IoT機器、VR/AR機器、カメラ、ディスプレイなどのデバイス等
 - ② ソフトウェア：OS、ミドルウェア、アプリケーション（スマホアプリ含む）、ブロックチェーンなどの暗号技術等
 - ③ インターネット：インターネットを利用したサービス、Webサイト、および関連技術等
 - ④ 通信：5G、通信衛星、量子ネットワーク、放送関連技術、光伝送技術等
 - ⑤ AI／ロボット工学：機械学習／深層学習などのAI技術、産業用／家庭用ロボット、自律運転車等
 - ⑥ 輸送（宇宙開発を含む）：人工衛星、宇宙船の開発／運用、宇宙探査、宇宙利用サービス、物流、ドローン等
 - ⑦ エネルギー／持続可能性：風力／太陽光発電、小型原子炉、蓄電池、冷暖房、淡水化、バイオマス等
 - ⑧ 医学／生物工学：再生医療、遺伝子治療、医療用センサー、インプラント、義肢、脳インターフェイス

応募対象 大学、スタートアップ企業、大企業、政府機関、非営利団体などに属する研究者、技術者、起業家、活動家等。
2022年12月1日時点で35歳未満（1987年12月2日以降生まれ）の方。性別は問いません。女性のご応募を歓迎します。

応募方法 専用の応募フォームから応募者本人が応募。
※別途、「情報提供フォーム」からの他薦も受け付けています。
その場合も、最終的には本人による応募が必要です。

選考方法 応募者本人およびリファレンス（推薦人／2名）が提出した書類をもとに、MITテクノロジーレビュー（グローバル）が定める世界共通基準に則って、該当分野の専門家（専門機関の研究者、大学教授など）が審査を実施。最終的にはMITテクノロジーレビューが受賞者を決定。

- 注意事項**
- Webサイトからのエントリーは日本版へのエントリーとなります。グローバル版へのエントリーではありません。日本版の受賞者はグローバル版に自動的にノミネートされます。
 - 海外在住の日本国籍を有する方、日本国内在住の外国籍を有する方とも応募が可能です。
 - 日本版の応募情報、応募書類はすべて日本語で提出ください。
 - 受賞後に年齢や経歴などに事実と異なる内容が発覚した場合、受賞を取り消すことがあります。
 - その他、応募にあたってのご不明な点はWebサイトの「応募者向けのFAQ」を参照ください。

- スケジュール**
- ① 応募 必要事項を専用の応募フォームから提出。【～8月中旬】
 - ② 事前審査 事務局による審査を実施。通過者には追加資料の作成・提出を依頼。【～9月初旬】
 - ③ 専門家審査 専門家による書類審査を実施。【～9月下旬】
 - ④ 決定 MITテクノロジーレビューが受賞者を決定し、本人に通知。【～11月中旬】
 - ⑤ 発表 プレスリリースおよびWebサイトにて受賞者を発表。【～11月下旬】
 - ⑥ 授賞式 「Innovators Under 35 Japan Summit」（都内で開催予定）にてトロフィーを授与。受賞者にはショートプレゼンを実施していただきます。【12月中旬】

応募・詳細は events.technologyreview.jp/IU35/

